

# 伸びる地域、伸びない地域

はじめに

## I. 地域経済の発展促進要因になるもの

### 1. 時代的潮流に合った地域

- (1) 産業構造の変革の波に乗れる地域
- (2) 創造都市、創造的な仕事地域に多く集積する都市、仕事環境の面から市民の自己実現をサポートできるような都市
- (3) 環境保全や地域文化の振興などを前面に出して、人間らしい生活ができる人間環境都市

### 2. 成長余力が大きな地域

- (1) 東アジア成長地域、とくに既存集積のある大都市（上海等）、あるいは経済特区型の都市など
- (2) 成長母都市の周辺地域

### 3. 都市的集積の元となる核を有する地域

- (1) 知の集積としての大学学術都市
- (2) ベンチャー企業関連の集積がある地域

### 4. 新陳代謝を促す条件があり、弾力的な自己変身をしやすい地域

- (1) 地域は企業などと違って簡単には変わらない
- (2) 人口構造で優位性を持つ地域
- (3) 外部地域に開かれた地域
- (4) 新陳代謝を促す社会的条件がその内部に存在している地域

### 5. 個性と魅力がはっきりした存在感のある地域

- (1) 魅力的な産業があり、それを支える生活文化機能が充実した地域
- (2) 歴史性や伝統、地域の生活・産業・文化、自然環境などにおいて他にないものを有する地域
- (3) 集客の仕掛けや、地域を外部へ売り出す情報発信、ネットワークづくりなどにおいて巧みな都市・地域

### 6. 知識創造の条件整備を促しつつ、グローバル化に伴う猛威については抑制・制御できる力量のある地域

- (1) 人間能力を向上させるに便な社会制度や環境を用意できる地域

- (2) 生活者の視点に力点を置いた経済主体間のネットワーク化や、そうした情報発信と情報創造活動の活発化により、経済と生活の視点を融合させられる地域
- (3) 地域のあり方について、生活者の視点からのチェックアンドバランスを効かせられる地域
- (4) 統合的能力があり、制度設計に巧みな地域政府・自治体を有する地域
- (5) こうした意味での地域発展の長期ビジョンが自前で描け、また地域的な共有もできる地域

## II. 伸びる地域にするため着目する外形的指標

### 1. 地域の産業構造の変革可能性、環境適応性

- (1) 工業構造の高度化の進展度合い
- (2) サービス産業の集積と高度化
- (3) 事業所数の伸びの趨勢、開業率の動向
- (4) 地域への本社機能の集積状況を見る

### 2. 人口動向と人口構造

- (1) 人口の絶対数と伸び率の推移、出生率の動向
- (2) 拠点都市（母都市）との立地関係、そこへの流出入状況、通勤・通学の状況
- (3) 若年人口比率とその推移、高齢者人口比率とその推移、両者の対照と比較検討

### 3. 職業・職種構造から地域産業の高度化状況を見る

- (1) 社会経済分類でみた職業・職種構造の高度化状況

### 4. 高賃金・高給与企業の集積度合いを見る

- (1) 高賃金・高給与企業の集積状況

### 5. 高付加価値・高生産性企業の集積度合いを見る

- (1) 高付加価値・高生産性企業の集積状況

### 6. 文化サービス、都市型企業の集積状況

- (1) 情報産業、報道・通信・放送・マスコミ企業、広告関連企業等
- (2) エンタテインメント産業
- (3) 文化芸術関連産業、カルチャーセンター、冠婚葬祭プロデュース、ミュージアム・ホール等
- (4) ホテル・ホスピタリティ産業、旅行関連産業、イベント関連産業
- (5) ファッション産業、ファクトリーブティック
- (6) マーケティング関連産業、市場調査企業、プランニング・企画開発企業、コン

## 7. 都心の魅力度と集積状況

- (1) 都心部への事業所の集積割合
- (2) 都心部の小売商業の全市に対する販売額割合
- (3) 都心部での大型店立地状況と全市に対する販売額割合
- (4) 都心部商店街の販売額が全市において占める割合
- (5) 都心部サービス系事業所の全市に占める割合
- (6) 市民の楽しみとなるスポットの都心部への集積状況

## 8. 独自性があり、情報発信もできる文化ストック、歴史的遺産、伝統遺産の地域における集積状況

- (1) 地域の文化ストック、歴史的文化遺産のうち、独自性や情報発信の可能性という基準で適うものの拾い出し
- (2) それらの集積状況の検討

## 9. まちづくり、産業振興支援に関する市民組織の数、そうしたことに関わる市民的活動の広がり、活動の独自性、地域的影響力など

- (1) まちづくり、産業振興というテーマに関する市民組織の状況
- (2) そうしたテーマによる市民活動の広がり、活動の独自性、地域への影響力

## 10. 地域における知識情報創造環境の整備状況

- (1) 大学・学術研究機関の集積状況とその独自性
- (2) 大学等の産学連携、地域連携の状況
- (3) 大学等における知識創造活動の活発度合い、そこでのテーマ等の独自性や地域課題との密着度合い
- (4) 地域産業の支援にかかる研究機関等の集積状況と拠点性の高さ、研究テーマや活動の独自性、情報の発信力
- (5) 既存の教育機関、社会教育機関の活動を高め、どれだけ市民の知識創造に関するサポート機関となし得ているか
- (6) その他の学術文化情報機関の地域的集積と市民への役立ち状況

## 11. 地域における経営者の自主活動の活発さと起業家的風土醸成の進展度合い

- (1) 経営者組織の活動の独自性と情報発信力、会員数の動向
- (2) 商工会議所の活動の独自性と情報発信力、会員数の推移
- (3) 経営者が参加する独自の異業種交流的組織の数と推移
- (4) 地域のリーディング企業レベルにおける競合企業の数と競争状況
- (5) 地域における起業家支援プログラムの数と種類、内容の独自性・実践性など

# 伸びる地域、伸びない地域

## はじめに

伸びる地域、伸びない地域を見分けるためには、どういったことがポイントになるであろうか。ここではその要因をごく大きく2つに分ける。その1つは、地域経済を発展させるための促進要因である。もう1つは、そうしたもののうち外形的に把握可能な観察指標となりうるものである。つまり、こうした指標に注目してそれを向上させれば地域発展が促されるという政策化を図る場合の操作変数になりうるものを見つけることである。

ともあれ、このようにして伸びる地域、伸びない地域を見分ける識別要因を大きく2つに分け、それをさらに具体的な規定要因にまで降ろしていくことにより、伸びる地域、伸びない地域を明らかにする作業に換えていこうというものである。

## I. 地域経済の発展促進要因になるもの

### 1. 時代的潮流に合った地域

#### (1) 産業構造の変革の波に乗れる地域

- ・時代の基本的な枠組みが変わるという意味での産業構造の変革期には、とりわけこのことが大事になる。
- ・したがって、知識情報化社会への適合性が高い地域であることがこの条件となる。これには、社会的インフラストラクチャーの整備状況、教育のあり方、技術のあり方、さらには社会制度、とくに社会の弾力性と柔軟性などが大きく影響してくる。

#### (2) 創造都市、創造的な仕事地域に多く集積する地域、仕事環境の面から市民の自己実現をサポートできるような都市

- ・「自分らしく生きる、自分はこうありたい」と望むことをサポートできるような社会や地域のことである。あるいは、新しくことを運べる創造的な生活世界がある地域のことである。また、そうしたことを作り出せる地域のことである。したがって、そこでは楽しい生活、人間らしい生活を送ることが期待できる。その意味での魅力的な地域になる。
- ・こうした都市は、次の(3)のような都市と共に、時代的なテーマを取り込み、掲げる都市のことであるといってもよい。

#### (3) 環境保全や地域文化の振興などを前面に出して、人間らしい生活ができる人間環境都市

## 2. 成長余力が大きな地域

- (1) 東アジア成長地域、とくに既存集積のある大都市（上海等）、あるいは経済特区型の都市など
- (2) 成長母都市の周辺地域

## 3. 都市的集積の元となる核を有する地域

### (1) 知の集積としての大学学術都市

- ・ ストラスブールなど。これは先の環境保全を前面に出した人間環境都市でもある。人口 25 万人のまちで 5 万 5 千人の学生が学ぶ。バイオ研究の伝統もある。ヨーロッパ議会が置かれる地であり、フランス国立高等行政機関（E N A）も移転・設置された。

環境対策としての公共交通の再生に熱心。次世代路面電車の全面導入に取り組む。

#### ①自動車の市内乗り入れの全面禁止

#### ②次世代路面電車（L R T）事業実行のため、公共交通機関税を導入した

#### ③この背景には、フランスにおける地方分権改革がある

- a. 1981 年：地方税における税率の自主課税権を認めた。
- b. 1982 年地方分権改革：国税からの税源委譲および一般補助金の創設。
- c. 1993 年：地方債の起債の自由化。

### (2) ベンチャー企業関連の集積がある地域

- ・ ベンチャー企業、ベンチャーキャピタルやベンチャー企業支援ビジネス、大学・研究機関等の集積のある地域。シリコンバレー など。

## 4. 新陳代謝を促す条件があり、弾力的な自己変身をしやすい地域

### (1) 地域は企業などと違って簡単には変わらない

- ・ このことの認識が大事。簡単には変わらない地域をどうやって望ましい方向に向け、変えていくのか。長期の方向づけの下での一步一步が大事になる。したがって、あれもこれもの方策はむずかしく、絞られたポイントに手を打っていくしかない。
- ・ そこでは、構想の一貫性が非常に大事になる。この点でいえば、金沢市における工業振興ビジョンの一貫性が注目される。金沢 21 世紀工業振興ビジョン（1993 年度事業で策定に着手）は、90 年代半ばに策定された。金沢市にあっては、これがその後における工業振興の大枠をかたちづくってきた。具体的には、工業フロンティアビジョンと呼ばれる 3 つの発展領域の提示である。それは、メカトロフロンティア、新技術フロンティア、生活文化フロンティアという 3 つの新分野のことである。
- ・ ここでメカトロフロンティアとは、地元を集積している機械系の工業にエレクトロニ

クス技術や精密工業技術を融合させて、新たな産業創出や販路開拓を図ろうとするものである。新技術フロンティアは、テクノパークなどの産業拠点にハイテクリーディング企業を誘致し、地域企業にそれらが持つ高度化技術の波及・伝播を期すというものである。ここではまた、医療、環境技術分野など長期的に成長領域にあると見られる分野において優良企業の誘致も図り、これによる地域企業の活性化を促すとした。そして、生活文化フロンティアは、金沢に集積する伝統産業から印刷、食品、アパレル、デザイン分野にまで至る生活と文化に根ざす企業に注目し、これらの企業の高度化により、新産業の創出や販路開拓を狙うとする。

(2) 人口構造で優位性を持つ地域

(3) 外部地域に開かれた地域

- ・ 経営者や経営者予備軍を受け入れやすい条件がある地域、そうした土壌のある地域
- ・ 異分子を排除しない企業風土、地域風土を持つ。生活レベルからもよそ者を受け入れやすいまち。

(4) 新陳代謝を促す社会的条件がその内部に存在している地域

- ・ 挑戦の機会、再挑戦の機会が多くの人に対し、多様に拓かれている。
- ・ 人口規模に比べて多様な職種が存在する。

## 5. 個性と魅力がはっきりした存在感のある地域

(1) 魅力的な産業があり、それを支える生活文化機能が充実した地域

- ・ 特定分野では高い専門性と世界的規模で情報発信ができる産業を有する。それを支える生活ストックや文化機能が充実している地域。
- ・ 知識創造環境が整備されていて魅力的な地域。

(2) 歴史性や伝統、地域の生活・産業・文化、自然環境などにおいて他にないものを有する地域

- ・ これは、いわばオンリーワンの地域のことである。

(3) 集客の仕掛けや、地域を外部へ売り出す情報発信、ネットワークづくりなどにおいて巧みな都市・地域

## 6. 知識創造の条件整備を促しつつ、グローバル化に伴う猛威については抑制・制御できる力量のある地域

(1) 人間能力を向上させるに便な社会制度や環境を用意できる地域

- (2) 生活者の視点に力点を置いた経済主体間のネットワーク化や、そうした情報発信と情報創造活動の活発化により、経済と生活の視点を融合させられる地域
- (3) 地域のあり方について、生活者の視点からのチェックアンドバランスを効かせられる地域
- (4) 統合的能力があり、制度設計に巧みな地域政府・自治体を有する地域
- (5) こうした意味での地域発展の長期ビジョンが自前で描け、また地域的な共有もできる地域

## Ⅱ. 伸びる地域にするため着目する外形的指標

ここではまず、産業構造の側面と人口動向の側面から、地域成長を規定する前提条件について検討する。これが次の1、2である。その次に新たな切り口からの企業類型化により、地域産業高度化の可能性について見ていく。これは3から6の項目である。その後、産業活動、経済活動の基盤としての都市生活の高度化に関する検討を行う。これが7から9にかけてである。さらに、都市の知識情報化に関する検討を行う。これは主として10の項目である。最後に、経営者のネットワーク力の向上に関する検討を行う。これは11の項目である。以上がここでの検討の大枠である。

### 1. 地域の産業構造の変革可能性、環境適応性

- (1) 工業構造の高度化の進展度合い
  - ・加工組立型産業の集積と強さ、競争力
  - ・情報通信関連産業への波及状況とこれの集積度合い
  - ・工業関係のリーディングカンパニーの集積度合い
- (2) サービス産業の集積と高度化
  - ・対企業活動向けのサポート産業の集積と強さ、競争力
- (3) 事業所数の伸びの趨勢、開業率の動向
  - ・これにより、地域の産業的な新陳代謝力についてみることができる
  - ・関連して、ベンチャー的企業の集積状況と動向についても把握する
- (4) 地域への本社機能の集積状況を見る
  - ・事業所・企業統計から

福井県の場合、県内に本社を置く企業の割合は59.6%。ちなみに、県内事業所の中で東京を本社とする事業所の割合は12.6%である。(1996年事業所・企業統計)

## 2. 人口動向と人口構造

- (1) 人口の絶対数と伸び率の推移、出生率の動向
- (2) 拠点都市（母都市）との立地関係、そこへの流出入状況、通勤・通学の状況
- (3) 若年人口比率とその推移、高令者人口比率とその推移、両者の対照と比較検討

## 3. 職業・職種構造から地域産業の高度化状況を見る

- (1) 社会経済分類でみた職業・職種構造の高度化状況

## 4. 高賃金・高給与企業の集積度合いをみる

- (1) 高賃金・高給与企業の集積状況

## 5. 高付加価値・高生産性企業の集積度合いをみる

- (1) 高付加価値・高生産性企業の集積状況

## 6. 文化サービス、都市型企業の集積状況

- (1) 情報産業、報道・通信・放送・マスコミ企業、広告関連企業等
- (2) エンタテインメント産業
- (3) 文化芸術関連産業、カルチャーセンター、冠婚葬祭プロデュース、ミュージアム・ホール等
- (4) ホテル・ホスピタリティ産業、旅行関連産業、イベント関連産業
- (5) ファッション産業、ファクトリーブティック
- (6) マーケティング関連産業、市場調査企業、プランニング・企画開発企業、コンサルティング企業



## 7. 都心の魅力度と集積状況

- (1) 都心部への事業所の集積割合
- (2) 都心部の小売商業の全市に対する販売額割合
- (3) 都心部での大型店立地状況と全市に対する販売額割合
- (4) 都心部商店街の販売額が全市において占める割合
- (5) 都心部サービス系事業所の全市に占める割合
- (6) 市民の楽しみとなるスポットの都心部への集積状況

## 8. 独自性があり、情報発信もできる文化ストック、歴史的遺産、伝統遺産の地域における集積状況

- (1) 地域の文化ストック、歴史的文化遺産のうち、独自性や情報発信の可能性という基準で適うものの拾い出し
- (2) それらの集積状況の検討

## 9. まちづくり、産業振興支援に関する市民組織の数、そうしたことに関わる市民的活動の広がり、活動の独自性、地域的影響力など

- (1) まちづくり、産業振興というテーマに関する市民組織の状況
- (2) そうしたテーマによる市民活動の広がり、活動の独自性、地域への影響力

## 10. 地域における知識情報創造環境の整備状況

- (1) 大学・学術研究機関の集積状況とその独自性
  - ・大学数
  - ・学生数
  - ・特色・独自性
- (2) 大学等の産学連携、地域連携の状況

- ・大学等が企業や市民にとってどれだけ使い勝手のよい身近な存在となっているか
- (3) 大学等における知識創造活動の活発度合い、そこでのテーマ等の独自性や地域課題との密着度合い
- (4) 地域産業の支援にかかる研究機関等の集積状況と拠点性の高さ、研究テーマや活動の独自性、情報の発信力
- (5) 既存の教育機関、社会教育機関の活動を高め、どれだけ市民の知識創造に関するサポート機関となし得ているか
  - ・小・中・高校や図書館など身近な生活圏にある教育施設、社会教育施設が、児童・生徒や一般市民にとってどれだけ知識創造のために役立つ機関となしえているか。
  - ・そのため、旧来のあり方や活動からどれだけ脱しているか。
- (6) その他の学術文化情報機関の地域的集積と市民への役立ち状況
  - ・企業の研究所やその他の学術文化情報機関も含めて、地域において知識情報創造の拠点となりうる機関等はどのくらいあるか。
  - ・また、それらのネットワークはどれだけ図られているか。

#### 1 1. 地域における経営者の自主活動の活発さと起業家的風土醸成の進展度合い

- (1) 経営者組織の活動の独自性と情報発信力、会員数の動向
- (2) 商工会議所の活動の独自性と情報発信力、会員数の推移
- (3) 経営者が参加する独自の異業種交流的組織の数と推移
- (4) 地域のリーディング企業レベルにおける競合企業の数と競争状況
- (5) 地域における起業家支援プログラムの数と種類、内容の独自性・実践性など